

岡山県感染症週報 2013 年 第 42 週 (10 月 14 日～ 10 月 20 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2013 年 第 42 週 (10/14～ 10/20) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 42 週 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O26 : 幼児 女)

■定点把握感染症発生状況

○RS ウイルス感染症は、県全体で 21 名 (定点あたり 0.81 → 0.39 人) の報告があり、前週より大きく減少しました。

○手足口病は、県全体で 51 名 (定点あたり 1.20 → 0.94 人) の報告があり、前週より減少しました。

【第 43 週 速報】

○腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O157 : 20 代 女) の発生がありました。(10 月 21 日)

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、第 42 週に 1 名の発生報告がありました。岡山県のこれまでの報告累計は 71 名となっています。県では、7 月 10 日に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令し、注意喚起を図っています。例年、最も発生報告が多いのは 8 月ですが、10 月も過去 5 年の月間平均患者数が 10.6 人となっていますので、ひきつづき注意してください。手洗い等を徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉は中心部まで火を通すなど、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ「[腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!](#)」をご覧ください。
2. **RS ウイルス感染症**は、県全体で 21 名 (定点あたり 0.81 → 0.39 人) の報告があり、前週より大きく減少しました。地域別では、岡山市 (0.93 人)、美作地域 (0.67 人)、倉敷市 (0.36 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。年齢別累計では、6 ヶ月未満 23%、6-12 ヶ月 26%、1 歳 31%と、1 歳以下の乳児が 80% を占めています。この感染症は、秋から冬にかけて多くの患者が報告されており、今後患者数が再び増加する恐れがあります。ひきつづき発生状況に注意してください。
3. **手足口病**は、県全体で 51 名 (定点あたり 1.20 → 0.94 人) の報告があり、前週より減少しました。地域別では、報告患者が増加した岡山市 (1.64 人) で最も定点あたり報告数が多くなっており、続いて倉敷市 (1.45 人)、備中地域 (1.29 人) で多くなっています。県全体としての報告数は減少していますが、患者の発生は続いていますので、ひきつづき、手洗い・うがいなどの感染予防に努めましょう。
4. **風しん**は、第 42 週の発生報告はありませんでした。岡山県のこれまでの報告累計は 74 名となっています。全国の第 41 週までの累計報告数は、14,171 名で、第 33 週以降は 1 週間の発生報告数が昨年同時期を下まわっているものの、依然、患者の発生が続いています。妊婦が風しんにかかり胎児に障がいが発生する[先天性風しん症候群 \(CRS\)](#)は、新たに 2 名の報告があり、2013 年の 10 月 9 日までの累計は 16 名となっています。
([先天性風しん症候群 \(CRS\) の報告 \(2013 年 10 月 9 日現在\) \(国立感染症研究所\)](#))
風しんの有効な予防方法は、予防接種を受けることです。風しんの定期予防接種対象者 (1 歳児、小学校入学前 1 年間の幼児) は、積極的に予防接種を受けましょう。また、定期予防接種の対象者以外の方でも、風しんの抗体価が十分であると確認ができた方以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。予防接種については、市町村の予防接種担当課へご相談ください。[おかやま医療情報ネット](#)から、予防接種を実施している医療機関を検索することができます。ワクチンの在庫及び、予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

【お知らせ】

今週から、5 類感染症の定点医療機関からの報告対象に感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る) が追加され、集計対象になります。集計表上では、感染性胃腸炎 (ロタウイルス) として表記しています。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡		RSウイルス感染症	⬇	★
咽頭結膜熱	⬆	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⬇	★
感染性胃腸炎	➡	★★	水痘	➡	★
手足口病	⬆	★	伝染性紅斑	➡	
突発性発疹	⬆	★★	百日咳	➡	
ヘルパンギーナ	⬆	★	流行性耳下腺炎	⬆	★
急性出血性結膜炎	➡		流行性角結膜炎	⬆	★
細菌性髄膜炎	⬇		無菌性髄膜炎	➡	
マイコプラズマ肺炎	➡	★	クラミジア肺炎	➡	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	新規	—			

【記号の説明】 前週からの推移: : 2倍以上の減少 : 1.1~2倍未満の減少 : 1.1未満の増減
 : 1.1~2倍未満の増加 : 2倍以上の増加
発生状況: 空白: 発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い
※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。今週から感染性胃腸炎(ロタウイルス)が報告対象となりました。

【医療機関の方へのお知らせ】

感染症法の届出基準等が一部改正されました。(平成25年10月14日施行)

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令(平成25年9月30日厚生労働省令第114号)」が公布されました。
これにともない、感染症法の届出基準・届出様式が改正されました。

【改正の概要】

1. ロタウイルスによる感染性胃腸炎を、基幹定点医療機関による届出対象疾病とする。なお、小児科定点医療機関による感染性胃腸炎の届出については、原因ウイルス等による区別をすることなく、従前どおり実施する。

○ [感染症発生動向調査事業実施要綱新旧対照表](#)

○ [届出基準・届出様式新旧対照表](#)

○ 届出基準が変更になった感染症

2類感染症
・急性灰白髄炎 ・結核
5類感染症(基幹定点医療機関の届出: 週報)
・感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)(新規)

○ 届出様式が変更になったもの

2類感染症
・結核
5類感染症(小児科定点医療機関の届出: 週報)
5類感染症(基幹定点医療機関の届出: 週報)

詳しくはこちらをご覧ください。

○ [感染症法に基づく医師の届出のお願い\(厚生労働省ホームページ\)](#)

保健所別報告患者数 2013年 42週 (2013/10/14～2013/10/20)

2013年10月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	21	0.39	13	0.93	4	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67
咽頭結膜熱	7	0.13	3	0.21	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	9	0.64	5	0.45	1	0.10	-	-	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	229	4.24	64	4.57	58	5.27	43	4.30	14	2.00	16	4.00	13	6.50	21	3.50
水痘	20	0.37	5	0.36	5	0.45	5	0.50	1	0.14	-	-	2	1.00	2	0.33
手足口病	51	0.94	23	1.64	16	1.45	2	0.20	9	1.29	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	20	0.37	9	0.64	5	0.45	1	0.10	-	-	2	0.50	-	-	3	0.50
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.06	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
流行性耳下腺炎	11	0.20	7	0.50	1	0.09	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	0.67	4	0.80	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

※今週から、五類感染症の定点医療機関からの報告対象に感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)が追加され、集計対象になります。
集計表上では、感染性胃腸炎(ロタウイルス)として表記しています。

保健所別報告患者数 2013年 42週 (2013/10/14～2013/10/20)

2013年10月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	7	0.13	3	0.21	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	9	0.64	5	0.45	1	0.10	-	-	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	229	4.24	64	4.57	58	5.27	43	4.30	14	2.00	16	4.00	13	6.50	21	3.50
水痘	20	0.37	5	0.36	5	0.45	5	0.50	1	0.14	-	-	2	1.00	2	0.33
手足口病	51	0.94	23	1.64	16	1.45	2	0.20	9	1.29	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.06	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
流行性耳下腺炎	11	0.20	7	0.50	1	0.09	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	0.67	4	0.80	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2013年 第42週 2013/10/14～2013/10/20)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

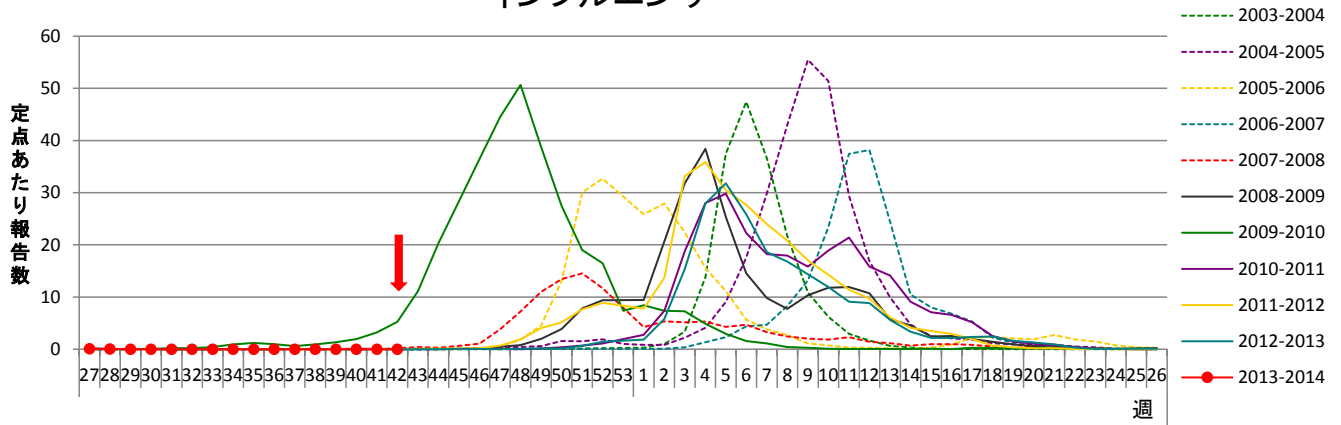
疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	21	5	4	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	7	-	1	2	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	-	-	2	2	-	2	2	-	1	3	1	2	-	1
感染性胃腸炎	229	7	22	42	21	19	16	18	7	10	11	6	18	3	29
水痘	20	-	-	6	1	5	2	4	-	1	-	1	-	-	
手足口病	51	-	6	13	15	6	5	5	-	1	-	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	20	2	8	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	11	-	-	-	-	1	2	3	3	1	1	-	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	8	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	1	1	-	1	-

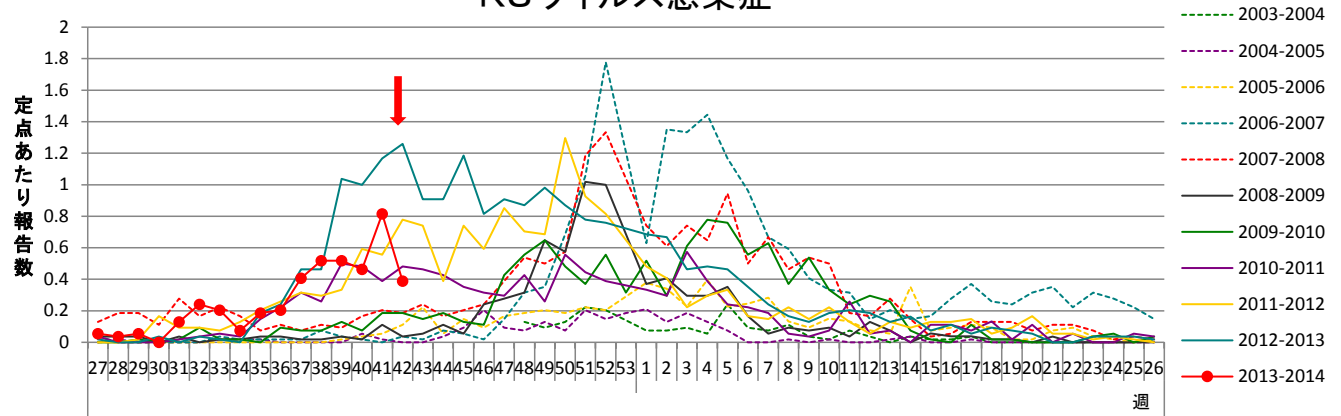
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0) ※今週から、五類感染症の定点医療機関からの報告対象に感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）が追加され、集計対象になります。集計表上では、感染性胃腸炎（ロタウイルス）として表記しています。

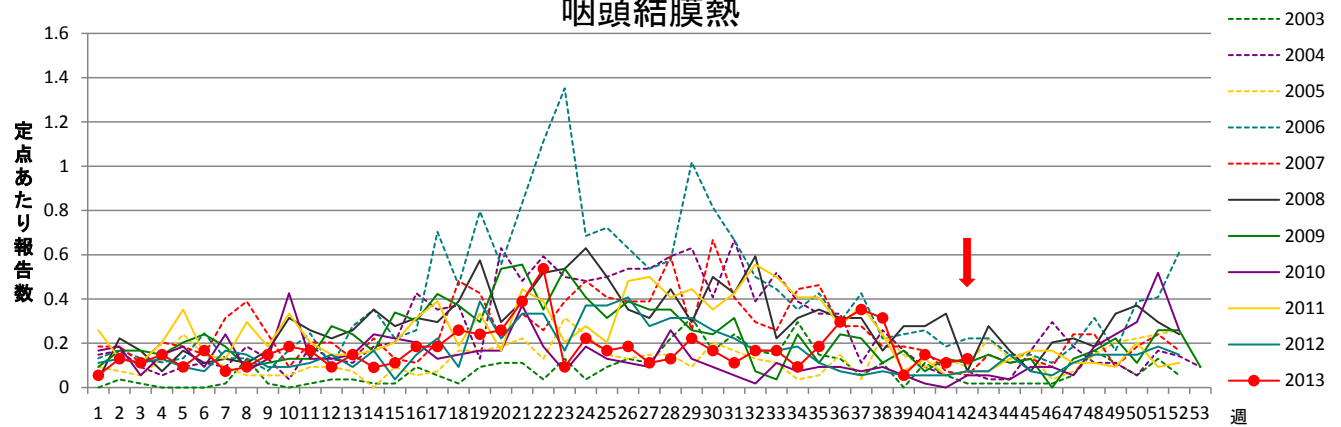
インフルエンザ



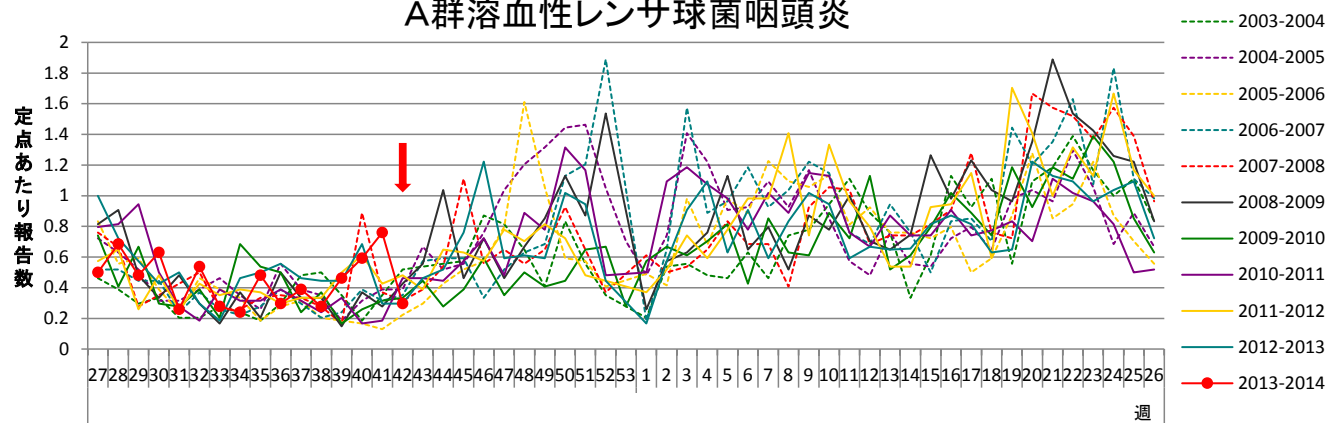
RSウイルス感染症



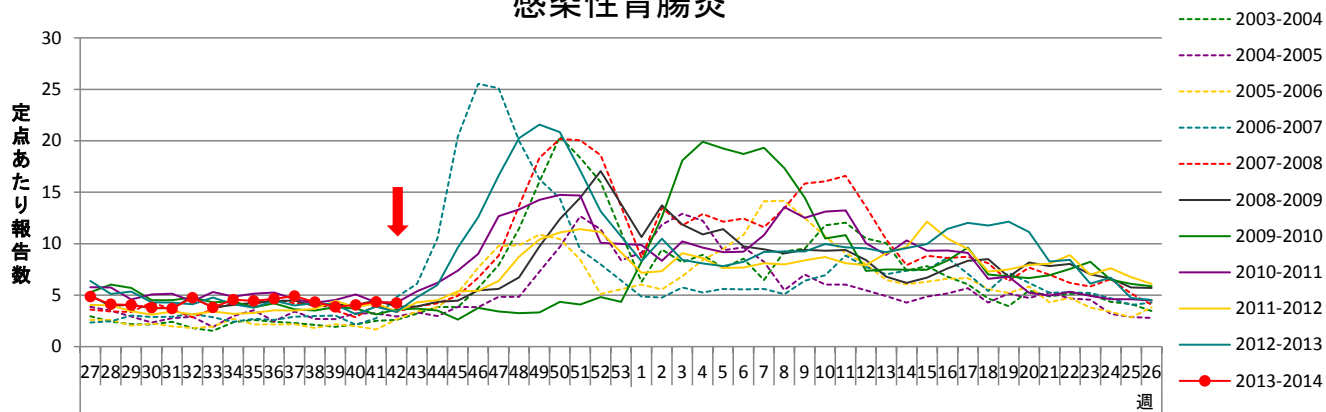
咽頭結膜熱



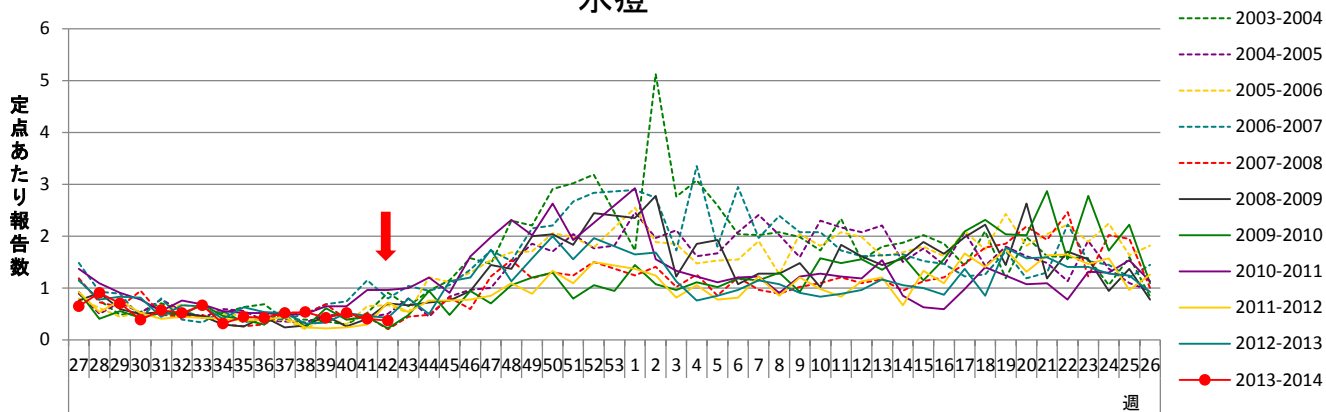
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



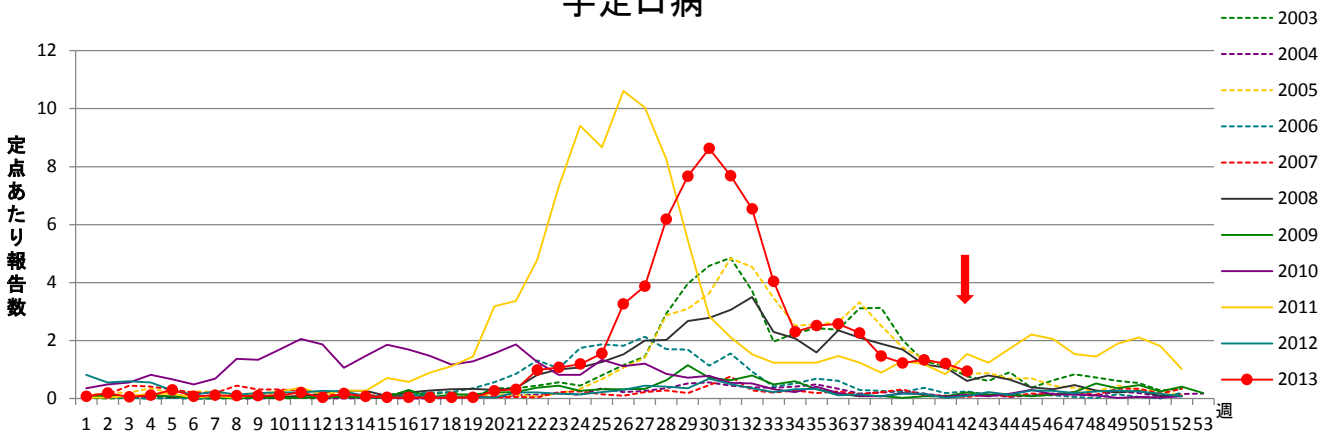
感染性胃腸炎



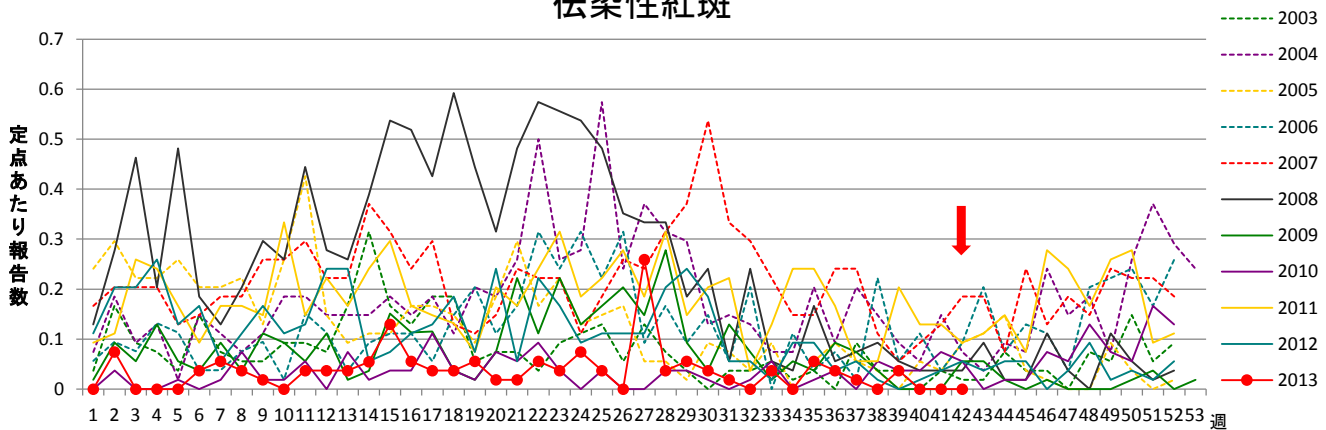
水痘



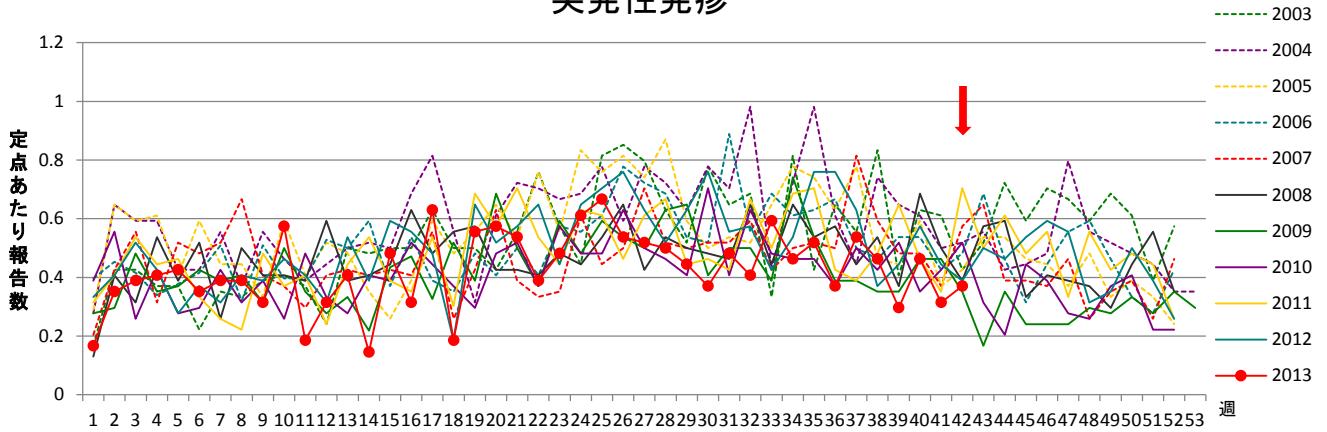
手足口病



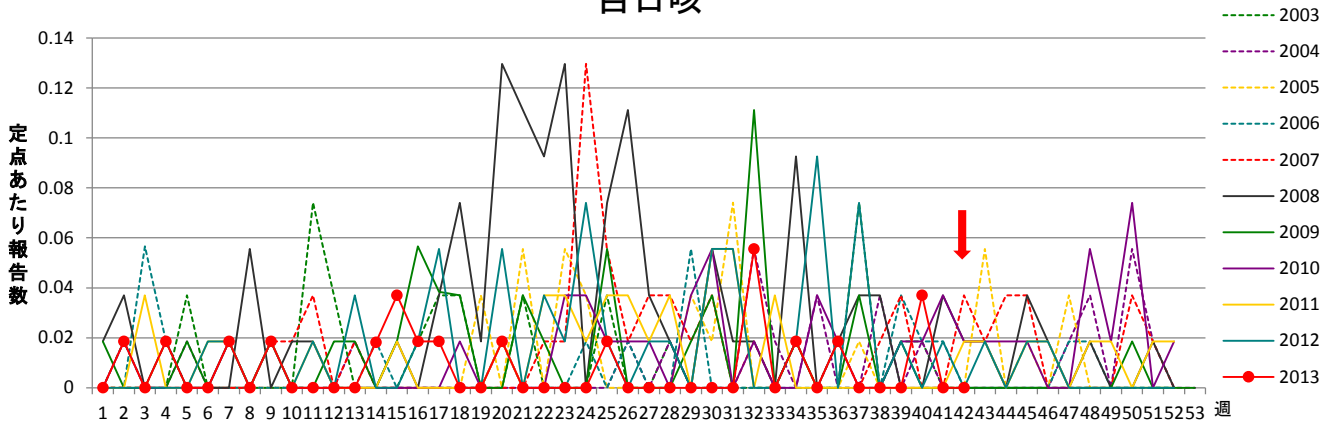
伝染性紅斑



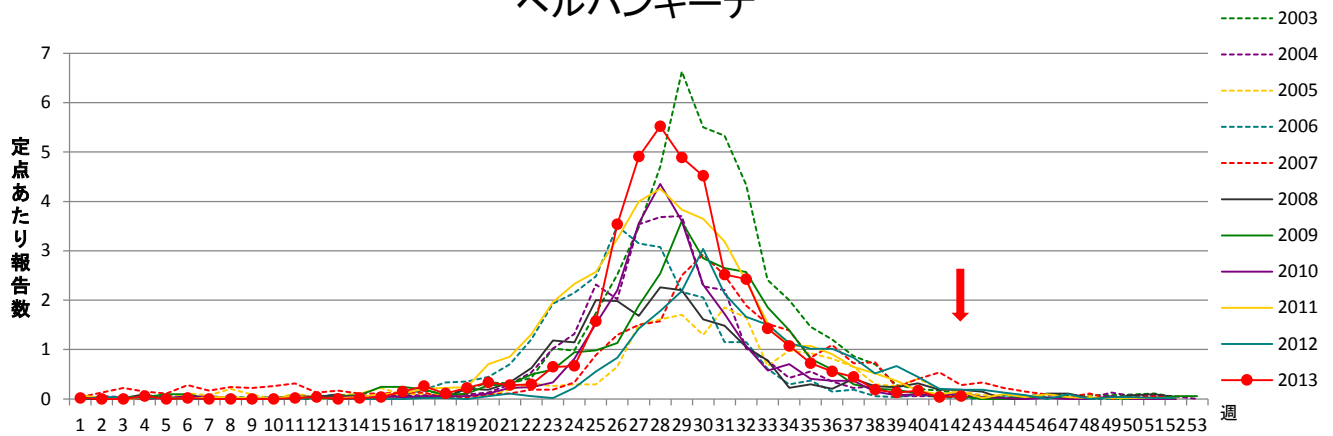
突発性発疹



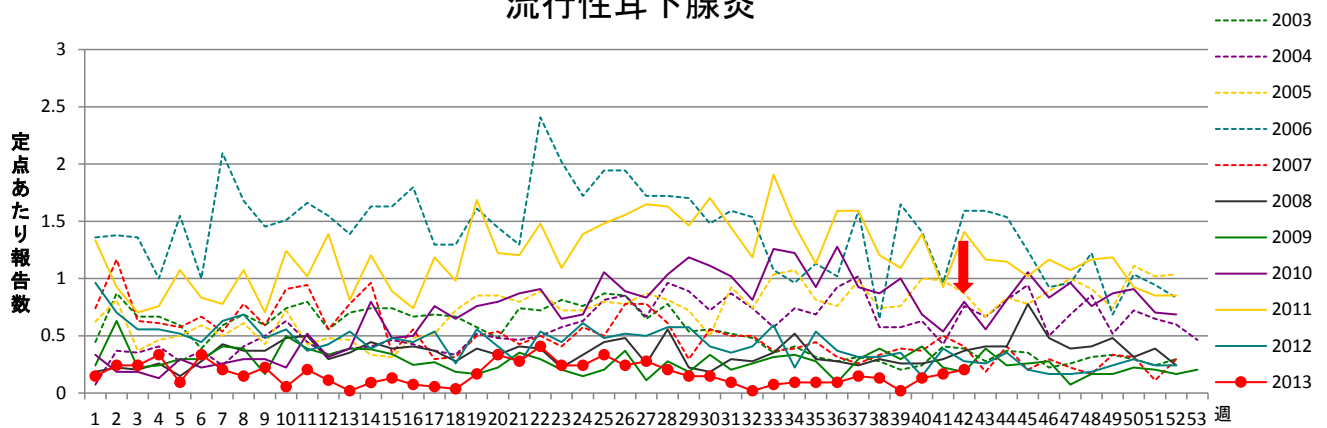
百日咳



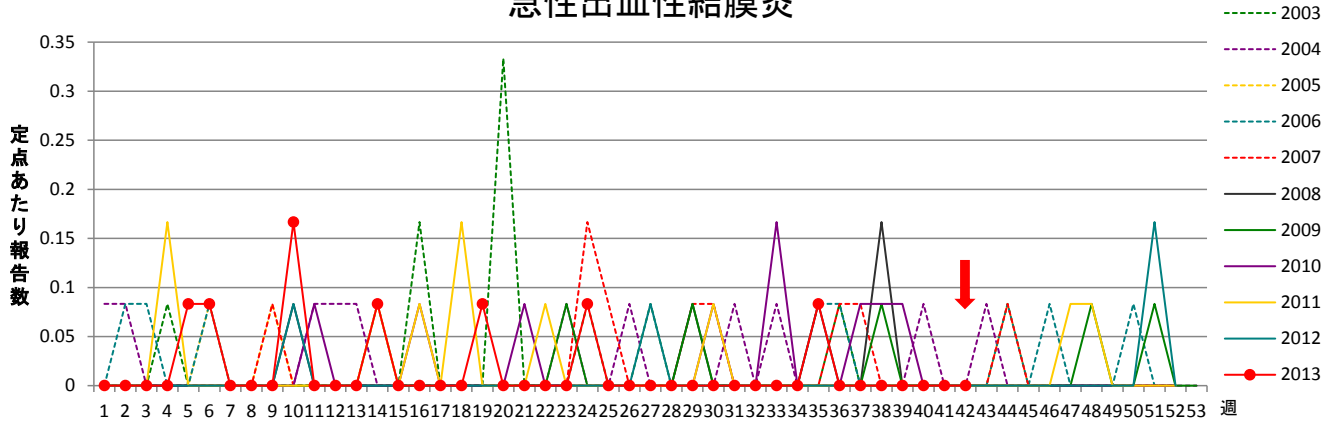
ヘルパンギーナ



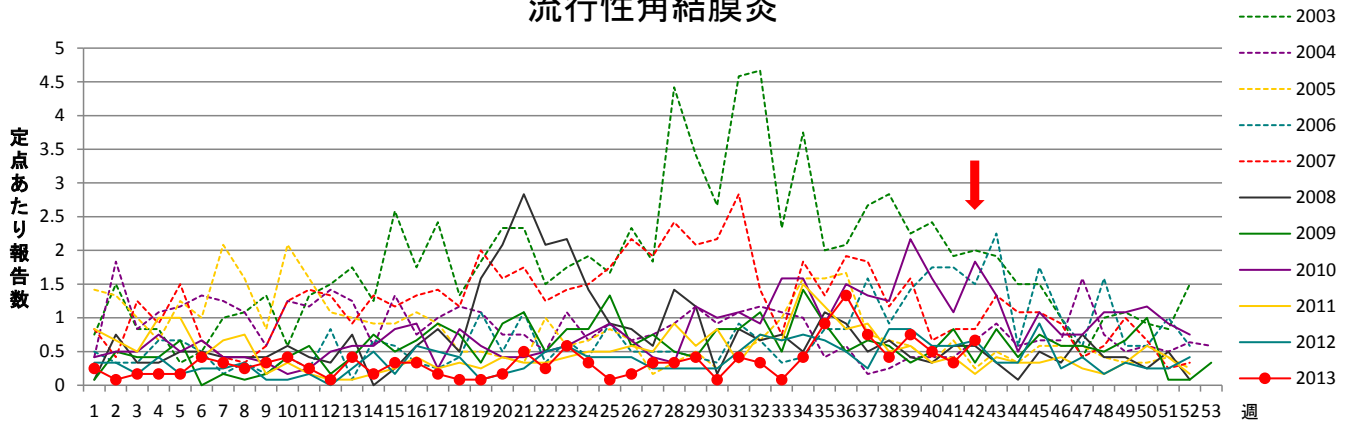
流行性耳下腺炎



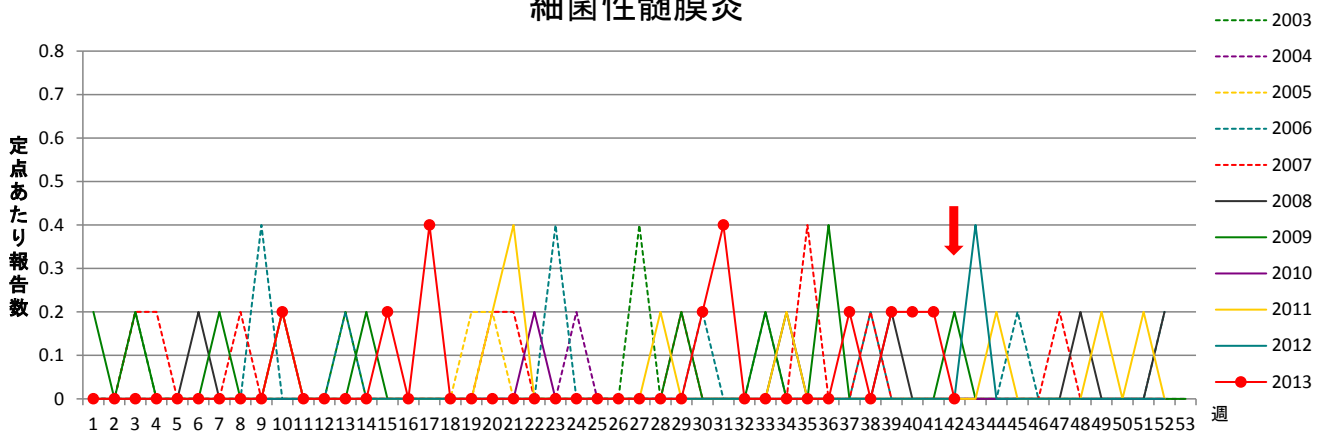
急性出血性結膜炎



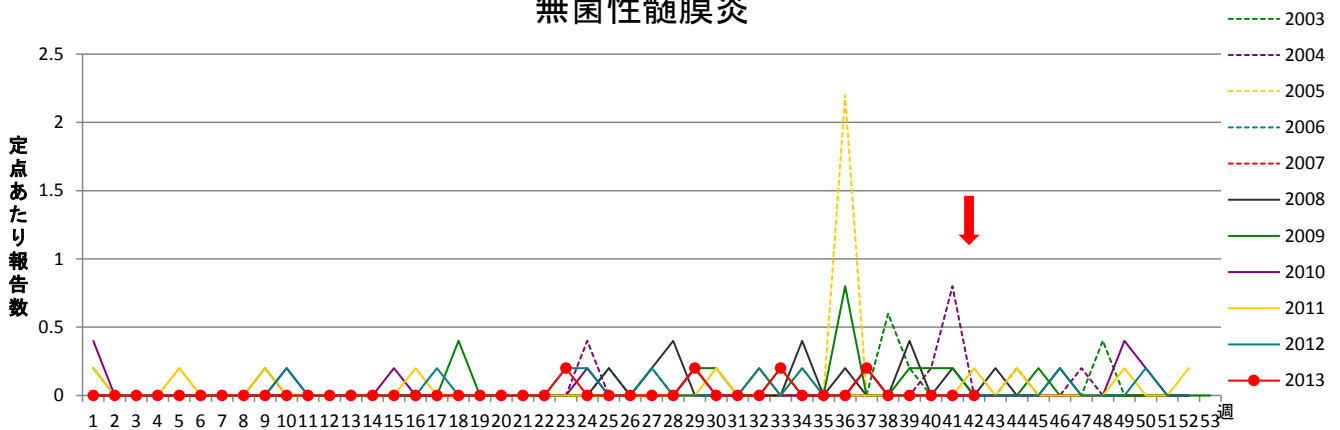
流行性角結膜炎



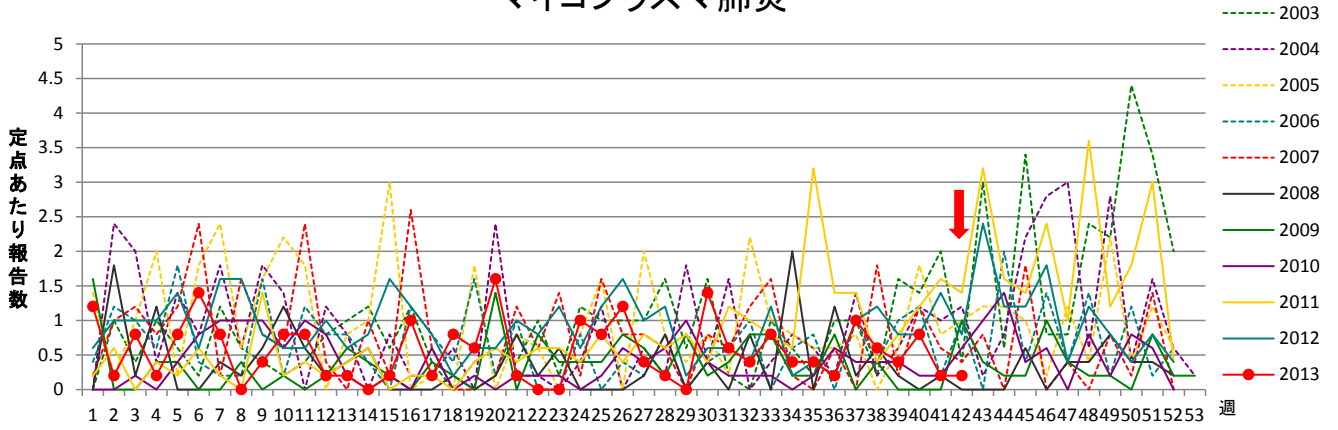
細菌性髄膜炎



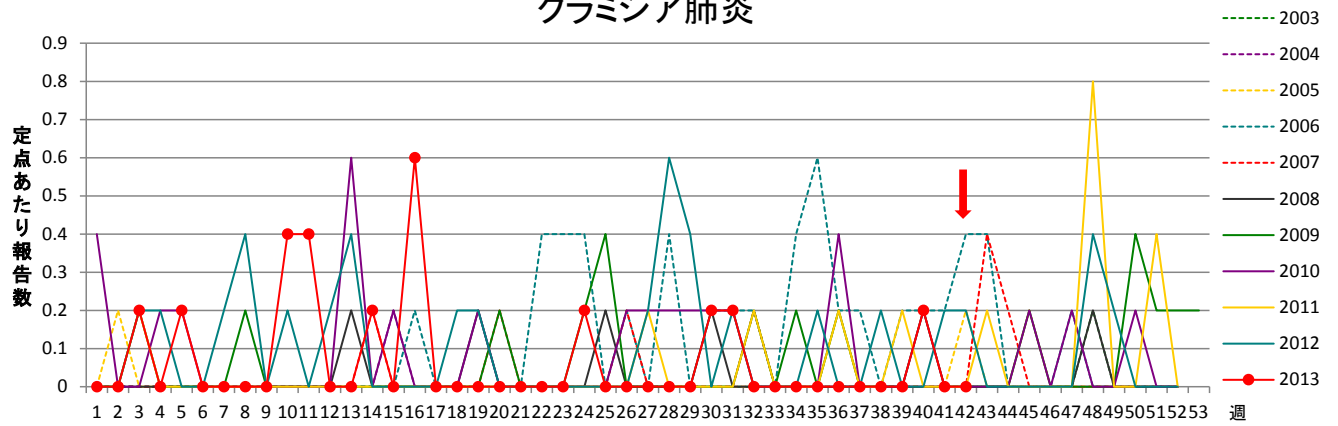
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎（ロタウイルス）

